

ほうりゅう通信



豊橋市議会議員 中村 竜彦 市政レポート

発行者：豊流会（豊橋市今橋町 1 ・豊流会）

TEL：0532-51-2931（直通）

市議会報告

■平成 24 年 9 月定例会・一般質問。

9 月定例会で行った一般質問「本市の災害対応について」の内容が東日新聞に掲載されました。

9 月 9 日、東日新聞・9 月豊橋市議会傍聴記・記事<以下抜粋>

『今年 6 月に台風 4 号が豊橋市を直撃した時に 12 万人を超える豊橋市民に避難勧告が発令された経過から、市の災害対応の問題点を指摘したのは中村竜彦氏（豊流会）。

梅田川の水位上昇による避難勧告の対象地域に自らの住む芦原校区全体が指定されたことから、仮に梅田川が氾濫した場合、実際に被害を受けるのは校区の一部の低地部分であり、まして指定避難所の校区市民館は梅田川沿いにあるという矛盾を指摘した。

当局は、避難勧告は町別に対応する事、また指定避難所の適正度を検討することを約した。

身近な事例から、全体の制度を変えていく地方議会らしい論の展開は明快だった。』<以上抜粋>

■消防団員の優待制度が充実します。

今年 3 月に一般質問で提案したことが具体化！

<平成 24 年 3 月 9 日、3 月定例会・一般質問・要旨>

Q：消防団員の多くが子育て世代のお父さん。子供と過ごす大切な一家団欒の時間を割いて消防団活動に取り組まれている。団員・家族の優待制度を取り入れて団員確保に取り組む他都市の事例があるが、本市でも、例えば、りすば豊橋で、いざという時の体カトレーニングや休日には理解してくれている家族を動物園へ、といった本市の施設での優待制度を取り入れるべきと思うが。

A：市の施設の優待制度については以前検討したが、他の多くの団体等との兼ね合いから課題もあり見送った経緯がある。しかし、団員の福利厚生拡大は必要と認識しており、飲食店などの割引制度などを検討している。

結果：平成 24 年 9 月 1 日から優待制度が充実！

豊橋市防団員・家族の皆さんの、市の施設にお

ける優待制度が下表のとおり始まりました。

施設名	家族	体力増進
豊橋市総合動植物公園	○	—
豊橋市民プール	○	○
視聴覚センター(プラネタリウム)	○	—
豊橋市自然史博物館	○	—
豊橋市美術博物館	○	—
豊橋市二川宿本陣資料館	○	—
こども未来館(ここにこ)	○	—
りすば豊橋	—	○
アクアリーナ豊橋	○	○

※家族（家族と団員 2 割引）

※体力増進（団員本人のみ無料）

併せて飲食店などの割引優待もスタート！詳しくは市の HP で。



■議会活性化等調査特別委員会が設置されました。（平成 24 年 6 月 24 日）

より市民に開かれ、わかりやすい議会を目指して、「議会活性化等調査特別委員会」が設置され、本格的な豊橋の議会改革がスタートしました。月に 2 回のペースで会議が開かれ、当面は会議規則の改正や、議会だよりの改善、議会基本条例の制定の 3 点に絞って、協議が進んでいます。

特に議会基本条例については、私たち豊流会提案の素案をたたき台に 10 月から本格協議が始まる運びです。また、議会だよりについては、今年の 12 月議会号から、議員による編集委員会を設置し、誰の一般質問なのか、どの会派がどんな賛否だったのか等、明記されるようになります。

議員提案は、議員に与えられた権利ですが、これまであまり活用されてきませんでした。

この委員会の設置によって、豊流会メンバーで六法全書や判例集等を引っ張り出して条例案の起草に没頭したり、また、会議においては高度な法律論争が委員会内で展開されるなど、今までにない議員同士が議論し合う環境になりました。

今後は、更なる議会の見える化に着手して行こうと思っています。“見られている”という意識が議員同士を切磋琢磨させると信じるからです。